

2026年度本試験分析

試験時間:90分 / 配点:200点(近世以降の文章110点+古典90点)

- 2025年度と同様、評論・小説・言語活動・古文・漢文の構成。
- 出題意図の明確な設問が多かったが、**正解が絞りにくい設問もあり、時間との勝負という傾向は踏襲されている。**
- 文字数(設問文等を含む全体)は約25,300字で2025年度とほぼ同じ程度の分量。
- 第1問は2025年度より抽象度の高い単独文章、第2問はノート+会話形式の設問を含む単独文章、第3問は複数資料の2025年度に比べ文字量が増えたが、共通テストとしては標準的な難易度であった。また、第4問(古文)の文章はやや難しいが、第5問(漢文)は読みやすく、**全体的には標準的なレベル**であった。
- ただし、設問としては、「表現の修正・加筆」を問う問題が多く出題された／第3問(言語活動)で資料の読解・出題意図の読解の双方が求められた／第4問(古文)が難しかったことなどが原因で**2025年度との比較ではやや難化したといえる。**
- 全体の難易度としては標準的な範囲の出題だが、設問数に比べて制限時間が厳しいので、時間配分には十分に注意が必要である。第5問(漢文)から戦略的に解くことで確実に得点しておき、第4問(古文)や第3問(言語活動)問3のような特徴的な出題に時間をかけて取り組むことが有効だったと思われる。

2025年度本試験と比較して

- 第2問では、**三行にわたる長めの選択肢**が複数出題された。**ノート+会話形式の設問**が出題された。
- 第3問では、**グラフの出題がなく、資料の読み取りよりも設問意図を踏まえた選択肢の吟味に時間をかける必要があった。**
- 第4問では、**和歌のない文章が出題され、従来の傍線部についての部分読解ではなく段落全体の読解を求める形で出題された。**また今年度は、生徒の会話形式の問題は出題されず、問題文よりも後の場面の引用文を踏まえた読解問題が出題された。
- 第5問では、文章IとIIの形式ではなく、最後の設問で**資料として追加の文章が出題される形**となった。第4問・第5問の一部の選択肢は五択で出題された。

2027年度共通テストにむけて

- 正しく「読む」ための読解のペースをつくる
第3問以外でも、基本になるのは読解力となる。まずは各大問の柱にあたる論理的文章・文学的文章・古文・漢文を正しく「読む」こと。まずは国語の問題演習を積む中で正しく「読む」やり方をつかんでいきたい。
- 情報把握力が特に求められる第3問
第3問は「言語活動」を重視した出題で、複数資料の読み取りや情報の整理が求められる。文章は短く資料のデータも複雑ではないので、設問を見て関係する資料を素早く見極め、必要な情報を整理して解いていけば対応できるが、他の設問に比べてグラフ読み取りや適当でないものを選ぶなど引っ掛かりやすいポイントが多いので、短い時間の中でも資料や選択肢を慎重に吟味したい。
- 全体の時間配分もカギ
全大問をきちんと解き終えるには、最初に全大問の出典・分量・設問形式などをざっと見て、取り組む順番や時間配分を決めて取りかかるとよい。解きやすそうな大問から解くパターンもあれば、得意な分野の大問を最後に残しておいて、他の大問に時間がかかってしまった場合に最後に得意な大問で時間を巻くというパターンもあるので、生徒個人にあった作戦を立てておきたい。

2026年度本試験

総字数 25,270字 平均点 116.37点

大問	分野	出典	特徴的な設問	総字数(本文字数)	平均得点率
1	評論	櫻井あすみ『贈与』としての美術・ABR』	※設問はすべて4択1選	7,600(4,200)	63.86%
2	小説	遠藤周作「影に対して」	問6:【ノート】と生徒同士の対話を踏まえた読解問題	8,200(4,200)	69.86%
3	言語活動	【文章】Mさんの下書きの一部 【資料I】科学的な内容の絵本の編集者へのインタビュー記事の抜粋(山形昌也氏へのインタビュー記事「科学絵本のアプローチ」をもとに作成) 【資料II】Mさんによる絵本『イワシ むれで いきる さかな』の抜粋とまとめ(大片忠明『イワシ むれで いきる さかな』をもとに作成) 【資料III】イワシに関する他の本の抜粋(東京水産振興会『世界はイワシでできている?』をもとに作成)	問3:複数資料の比較・読解問題	4,250(2,090)	61.04%
4	古文	『うつほ物語』	問5:複数資料を踏まえた内容把握問題	3,100(1,060)	45.68%
5	漢文	『松陰快談』	問7:複数資料を踏まえた内容把握問題	2,120(459)	52.08%

2025年度本試験

総字数 24,800字 平均点 126.67点

大問	分野	出典	特徴的な設問	総字数(本文字数)	平均得点率
1	評論	高岡文章「観光は『見る』ことである／ない—『観光のまなざし』をめぐって」	すべて傍線部の内容読解に関わる設問	7,800(3,800)	66.74%
2	小説	蜂飼耳「蘭の遊戯」	内容読解に関わる設問×6問 本文の表現に関する設問×1問	7,900(4,300)	73.47%
3	言語活動	【資料I】国立国語研究所『外来語に関する意識調査(全国調査)』 【資料II】国立国語研究所「外来語」委員会編『分かりやすく伝える外来語言い換え手引き』 【資料III】NHK放送文化研究所『放送研究と調査』2022年12月号	「表現の修正・加筆」を意識した出題	3,400(660)	66.01%
4	古文	文章I:『在明の別』 文章II:『源氏物語』若菜下	問3:複数資料+会話形式	3,800(1,060)	57.42%
5	漢文	文章I:『論語』の一節 皆川淇園『論語釋解』 文章II:田中履堂『学資談』	問5:「又」「亦」の用法	1,900(200)	54.51%

2024年度本試験

総字数 23,820字 平均点 116.50点

大問	分野	出典	特徴的な設問	総字数(本文字数)	平均得点率
1	論理的文章	渡辺裕『サウンドとメディアの文化資源学—境界線上の音楽』	問6:複数資料・文章形式	8,160(3,890)	59.95%
2	文学的文章	牧田真有子「棧橋」 【資料】太田省吾「自然と工作—現在の断章」	問7:複数資料・会話形式	8,180(3,080)	69.91%
3	古文	『草縁集』「車中雪」	問4:複数資料・文章形式	4,450(1,130)	49.13%
4	漢文	杜牧「華清宮」／蔡正孫『詩林広記』 程大昌『考古編』	問6:漢詩+資料(文章)	3,030(200)	54.00%

2027年用 パワーマックス共通テスト対応模試

編集方針

次の点を意識して制作しています。

- 2026年度の共通テストの出題傾向を踏まえた問題を掲載、**新課程入試に完全対応できる国語力を養成**します。
- マルチテキストや会話形式の設問、和歌や漢詩を含む文章など、出題の可能性のある**さまざまな設問形式、文章ジャンル**を網羅しています。
- 「解答・解説編」では**正答理由と誤答理由を詳しく説明**、学習する人の「なぜ?」という疑問に丁寧に答えます。



改訂のポイント

- 第1回は、2026年度の出題形式に完全合致。第3問では図表・グラフなしの問題、第4問では和歌なしの問題を出題。
- 現代文の「4択1選」、3行選択肢、古文・漢文では「5択1選」を増やし、共通テストの選択肢の形式を踏まえて改題。
- 第1回・第2回の問題の多くを、2026年用のパワーマックスに掲載しなかった**新しい問題**に差し替え。

国語×8



模試8回分を収録

定価 1,045円(税込)
B5判 | 問題編432ページ
別冊解答・解説編248ページ

6月発刊

国語×5



模試5回分を収録

『パワーマックス共通テスト対応模試国語×8』の第1回～第5回と共通の問題です。

定価 902円(税込)
B5判 | 問題編264ページ
別冊解答・解説編152ページ

6月発刊

現代文×8



模試[現代文]8回分を収録

『パワーマックス共通テスト対応模試×8』の「現代文(論理的文章・文学的文章・言語活動)」と共通です。

定価 825円(税込)
B5判 | 問題編288ページ
別冊解答・解説編152ページ

6月発刊

古文・漢文×8



模試[古文・漢文]8回分を収録

『パワーマックス共通テスト対応模試×8』の「古文・漢文」と共通です。

定価 770円(税込)
B5判 | 問題編152ページ
別冊解答・解説編128ページ

6月発刊

表紙デザインは変更する場合があります

採用特典

▶P.41-42

Webダウンロード
本文データ

Google Forms
解答フォーム

納品形態

▶裏表紙

問題・解答ともバラシA可

学習診断サイト

▶P.39

パワーマックス 出題一覧

2027年用パワーマックス国語に収録されている、おすすめ問題を「共通テスト対策教材特設ページ」にてご紹介!

特設ページはコチラ



■: 新作・改題を含む大問

第1回 [総字数 27,720字]					
大問	出典	特徴的な設問	総字数 (本文字数)	解答目安 時間	難易度
1	稲葉振一郎『社会学入門〈多元化する時代〉をどう捉えるか』	※設問はすべて4択1選	6,850 (3,810)	20分	標準
2	古井由吉「方違え」	問5: 資料・生徒のメモと考察を踏まえた複数資料の内容把握問題	8,660 (4,610)	19分	標準
3	【文章】山田松香木店監修『和の香りを楽しむ「お香」入門』 【資料I】語句…【文章】中の語句の詳しい解説 図①…源氏香の図/図②…フレグランスホイールによる香りの分類 【資料II】西洋における香りの歴史の年表(オリジナル) 【資料III】図…Lさんが見つけた香りについてのポスター(オリジナル) 報道発表資料…独立行政法人国民生活センター 柔軟仕上げ剤の においに関する情報提供	問3: 論理展開の把握・評価問題	5,040 (2,910)	13分	標準
4	『発心集』	問6: 表現の特徴と内容を把握する問題	4,330 (1,520)	19分	標準
5	魏慶之『詩人玉屑』	問6: 二つの文章を関係づけて、主旨を把握する問題	2,840 (280)	19分	標準

第2回 [総字数 28,730字]					
大問	出典	特徴的な設問	総字数 (本文字数)	解答目安 時間	難易度
1	芦原義信『街並みの美学』	問6: 本文の特徴を把握する問題	6,500 (3,890)	20分	標準
2	宮地嘉六『ある職工の手記』	問6: 表現の特徴に関する問題	7,890 (4,320)	20分	標準
3	磯辺篤彦『海洋プラスチックごみ問題の真実 マイクロプラスチックの実態と未来予測』	問4(ii): 意図と合致する資料を選ぶ問題	4,770 (2,620)	12分	標準
4	『しぐれ』/『義経記』	問5: 複数文章・会話文を踏まえた内容把握問題	6,780 (2,490)	19分	標準
5	袁枚「答沈省堂觀察書」	問7: 筆者の感想を把握する問題	2,580 (270)	19分	標準

第3回 [総字数 28,050字]					
大問	出典	特徴的な設問	総字数 (本文字数)	解答目安 時間	難易度
1	外山滋比古『異本論』	問6:本文の表現と構成を把握する問題	7,260 (4,540)	20分	標準
2	福永武彦『忘却の河』	問6:会話形式を踏まえた複数テキストの内容把握問題	8,360 (4,670)	20分	標準
3	【資料I】「今後の主権者教育の推進に向けて(中間報告)」(文部科学省 主権者教育推進会議)／【資料II】「主権者教育(政治的教養の教育)実施状況調査について(概要)」(文部科学省)／【資料III】「報告 主権者教育の理論と実践」(日本学術会議政治学委員会政治過程分科会)	問4:複数資料を踏まえた発展考察問題	6,010 (3,420)	13分	標準
4	『松蔭日記』	問5:和歌の説明問題	3,650 (1,110)	19分	標準
5	『顔氏家訓』／『呂氏春秋』	問6:二つの文章の比較読解問題	2,770 (400)	18分	標準

第4回 [総字数 22,470字]					
大問	出典	特徴的な設問	総字数 (本文字数)	解答目安 時間	難易度
1	野家啓一『哲学塾 歴史を哲学する』	※設問はすべて4択1選	6,250 (3,890)	20分	標準
2	庄野潤三『静物』	※設問はすべて4択1選	5,080 (2,890)	19分	やや易
3	令和4年度、平成24年度 国語に関する世論調査／加藤重広『日本人も悩む日本語 ことばの誤用はなぜ生まれるのか?』	問5:複数テキストの関連考察問題	4,200 (2,330)	13分	標準
4	『師門物語』／『伊勢物語』	問4:複数文章・会話文を踏まえた内容把握問題	4,440 (690)	19分	標準
5	『鶴林玉露』	問6:会話文を踏まえた内容把握問題	2,500 (259)	19分	標準

第5回 [総字数 29,090字]					
大問	出典	特徴的な設問	総字数 (本文字数)	解答目安 時間	難易度
1	鈴木博之『都市へ』／木俣元一『『廃墟』としての人文学』	問6:会話形式による複数資料の内容把握問題	8,080 (4,210)	20分	やや難
2	阿部昭「自転車」／【資料】岸良範「—自転車泥棒—父と子が素顔で向き合うとき」	問7:複数資料の比較問題	9,110 (4,290)	19分	標準
3	【文章】生徒の作成したレポートの書き出し(オリジナル) 【資料】文化庁 平成28年度「国語に関する世論調査」の結果の概要／文部科学省「オンライン授業に係る制度と新型コロナウイルス感染症の影響による学生等の学生生活に関する調査／テレワークに関するアンケート調査／厚生労働省「テレワークの適切な導入及び実施の推進のためのガイドライン」	問3:論理展開の把握・評価問題	4,420 (2,700)	13分	標準
4	『後鳥羽院御口伝』／『源家長日記』	問4:会話文を踏まえた複数文章の内容把握問題	5,660 (970)	19分	標準
5	『愚溪詩序』／『冉溪』	問6:文章と詩の比較読解問題	1,820 (250)	19分	標準

第6回 [総字数 25,840字]					
大問	出典	特徴的な設問	総字数 (本文字数)	解答目安 時間	難易度
1	日高敏隆「論理と共生」／宇根豊『日本人にとって自然とはなにか』	問6:メモ形式による複数文章の内容把握問題	8,110 (4,660)	20分	標準
2	中島敦『名人伝』／【資料】山下真史『『名人伝』論』	問7:会話形式による複数文章の内容把握問題	7,180 (3,130)	20分	標準
3	【資料】貞包英之『消費社会を問いなおす』／松原隆一郎・辰巳渚『消費の正解—ブランド好きの人がなぜ100円ショップでも買うのか』	問3:複数資料の再構成・評価問題	4,730 (2,710)	13分	標準
4	『高倉院殿鳥御幸記』／『平家物語』	問5:複数文章・会話文を踏まえた内容把握問題	3,950 (1,390)	19分	標準
5	『説苑』／『莊子』	問7:文章の比較読解問題	1,870 (240)	18分	標準

第7回 [総字数 28,550字]					
大問	出典	特徴的な設問	総字数 (本文字数)	解答目安 時間	難易度
1	桜田一洋『垂種の起源』／矢田部英正『椅子と日本人のからだ』	問6:会話形式による複数資料の内容把握問題	7,390 (3,550)	20分	標準
2	小川洋子『ビーバーの小枝』	問5:表現の特徴把握問題	7,330 (4,490)	19分	やや易
3	【資料】野澤千絵『老いた家 衰えぬ街 住まいを終活する』／「東京都世帯数の予測」(東京都)／「空き家政策の現状と課題及び検討の方向性」(国土交通省)／野澤千絵『老いる家 崩れる街 住宅過剰社会の末路』	問3(ii):論理展開の把握・評価問題	6,350 (4,130)	13分	標準
4	『今鏡』／『平家物語』	和歌を含む 問4:会話形式による内容把握問題	5,250 (1,810)	19分	やや難
5	『韓非子』／『艾子雑説』	問7:文章の比較読解問題	2,230 (250)	19分	やや難

第8回 [総字数 25,410字]					
大問	出典	特徴的な設問	総字数 (本文字数)	解答目安 時間	難易度
1	大山顕『新写真論』／寺田寅彦「カメラをさげて」	問6:会話形式による複数文章の内容把握問題	8,810 (4,930)	20分	やや難
2	志賀直哉『或る朝』	批評を含む 問5:複数テキストの比較問題	5,560 (2,810)	19分	標準
3	【会話】生徒らがレポートをまとめる際に交わしたものの(オリジナル) 【資料】田中宏隆・岡田亜希子・瀬川明秀著、外村仁監修『フードテック革命 世界700兆円の新産業「食」の進化と再定義』／谷口賢吾「教員のちょっと気になる『人工肉・代替肉市場』」／夫馬賢治「データでわかる2030年 地球のすがた」	問1:文章・図表の内容把握問題	4,450 (2,890)	13分	やや易
4	『古今著聞集』／『愚秘抄』	和歌を含む 問4:複数文章を踏まえた会話形式の内容把握問題	4,370 (1,320)	20分	やや難
5	『晋書』／「九日北楼宴集」	漢詩を含む 問6:文章と詩の比較読解問題	2,220 (230)	18分	標準